

経営比較分析表（平成30年度決算）

宮城県涌谷町 涌谷町国民健康保険病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	12	-	ド訓	救臨へ輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
16,285	8,569	第2種該当	10:1	

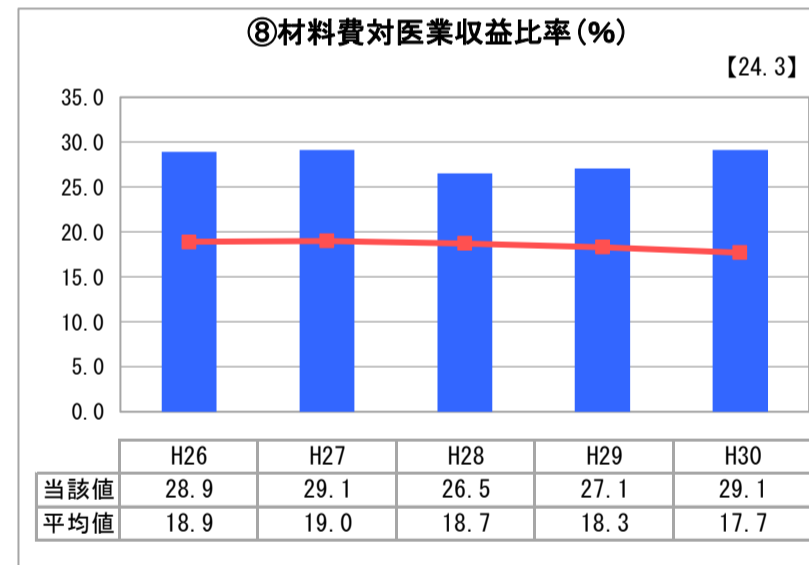
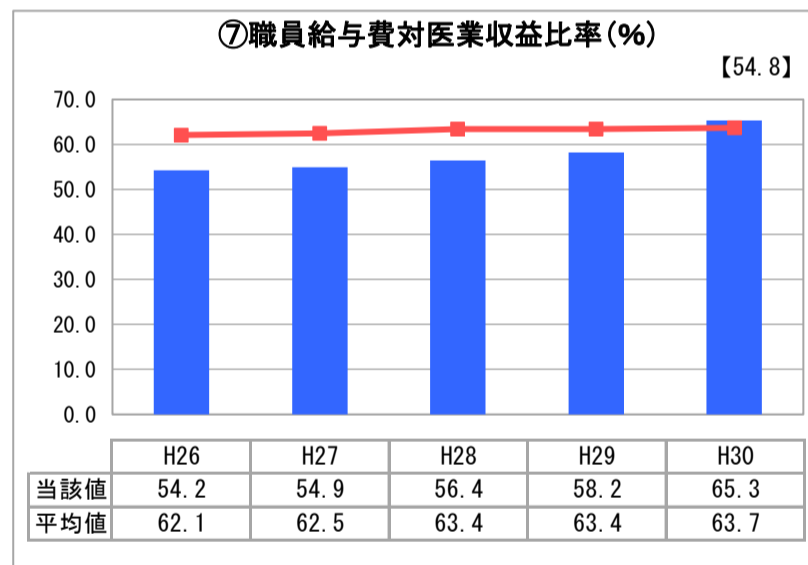
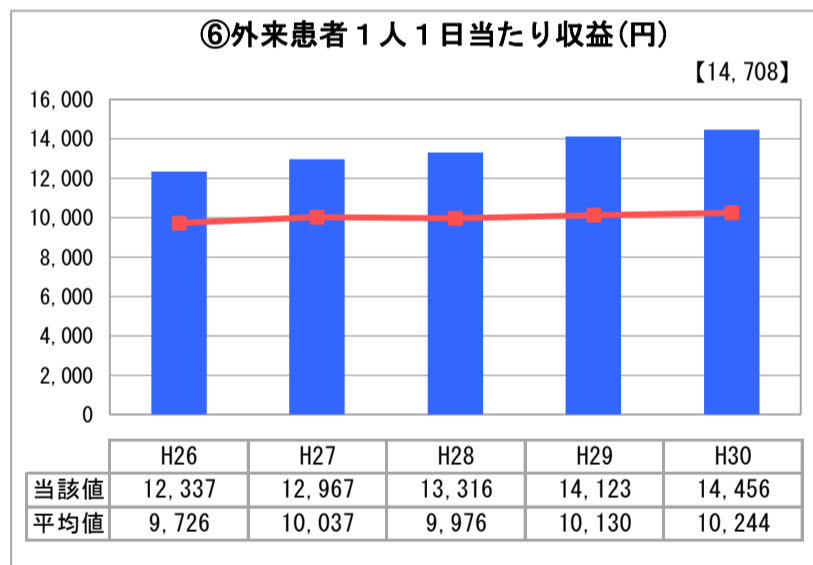
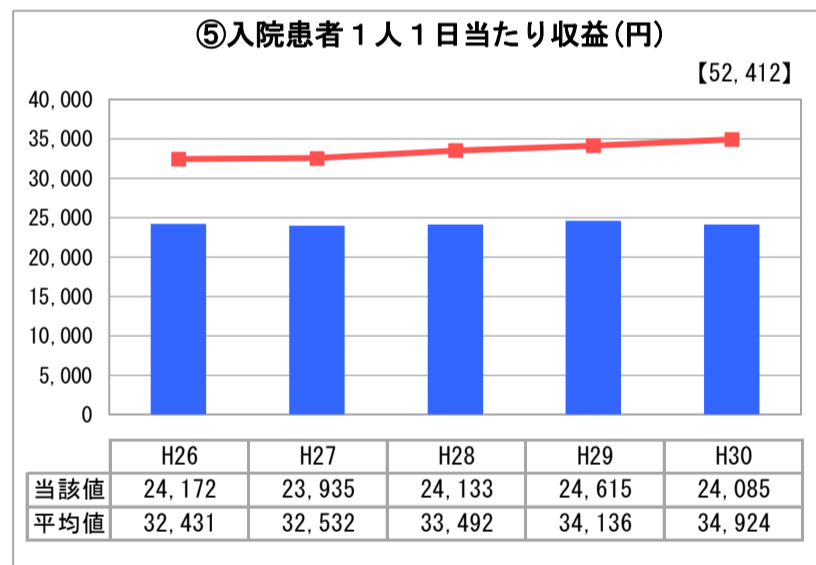
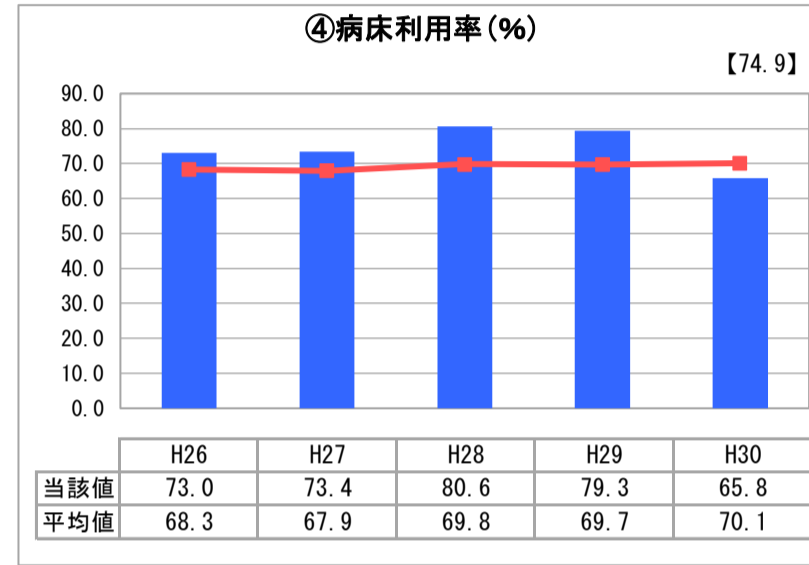
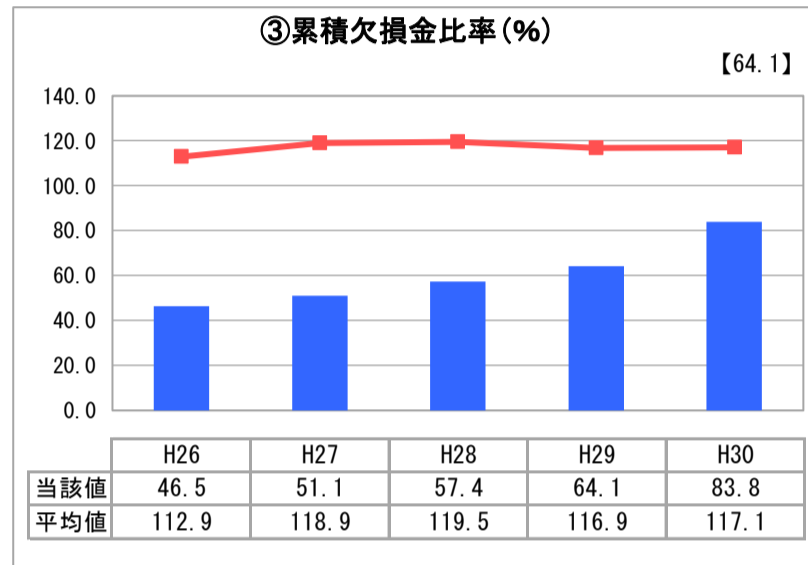
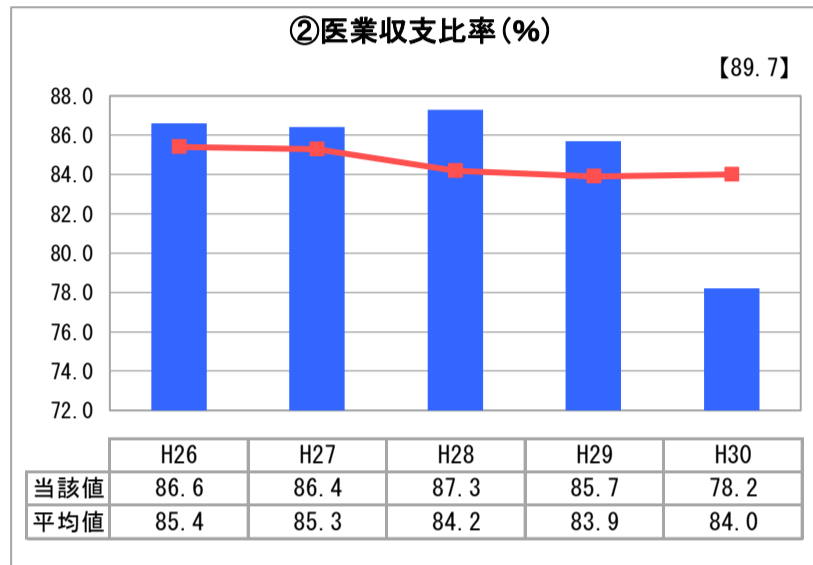
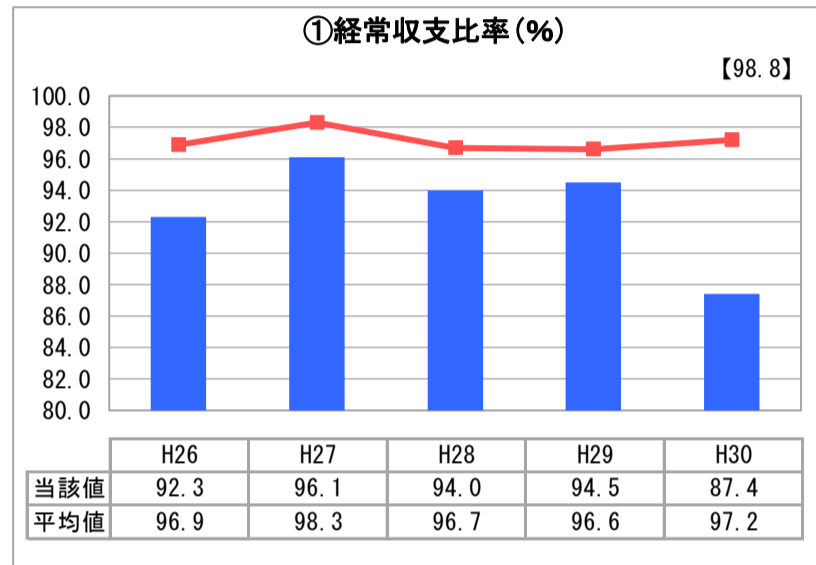
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

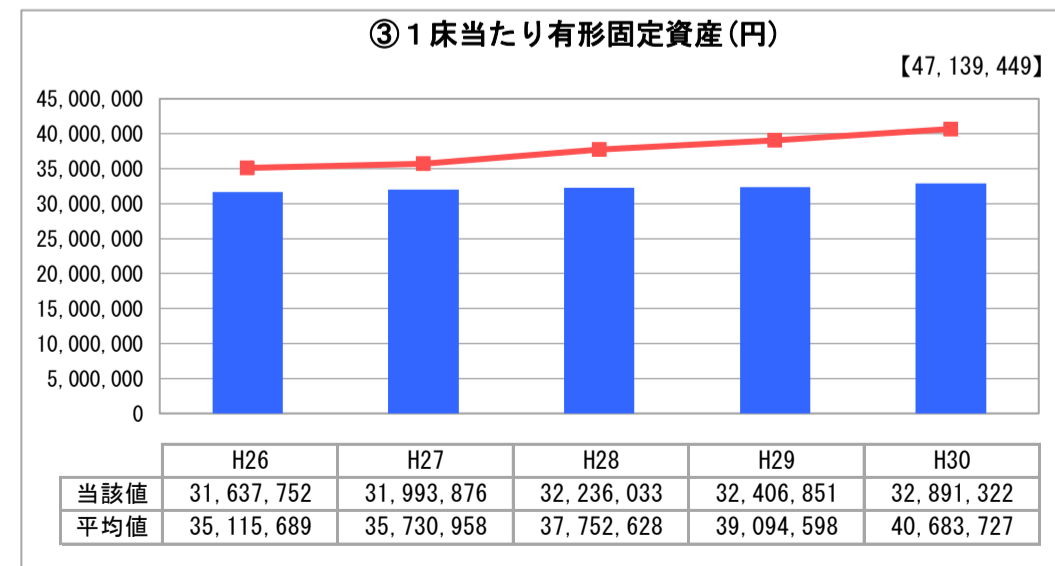
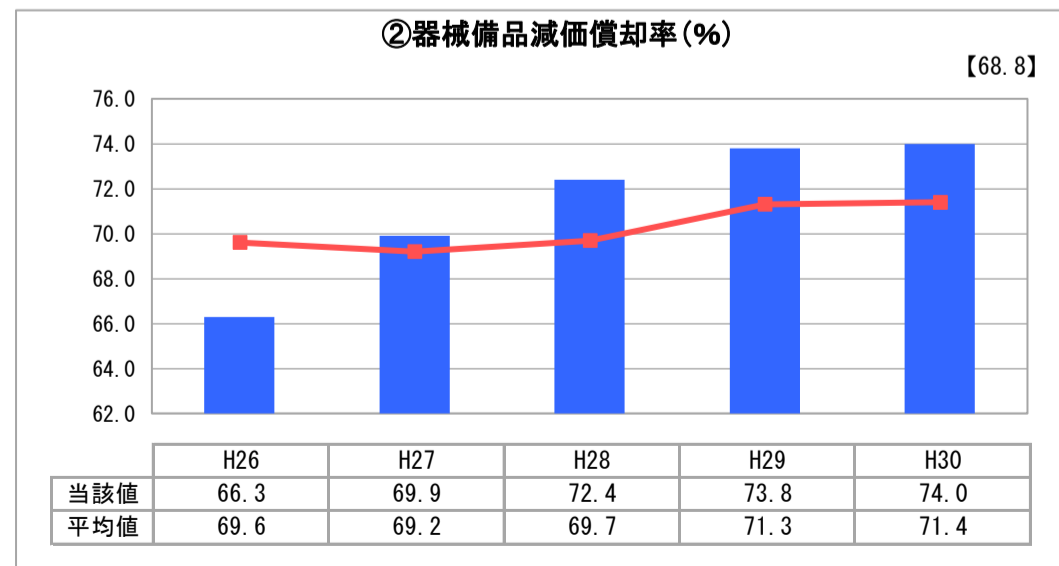
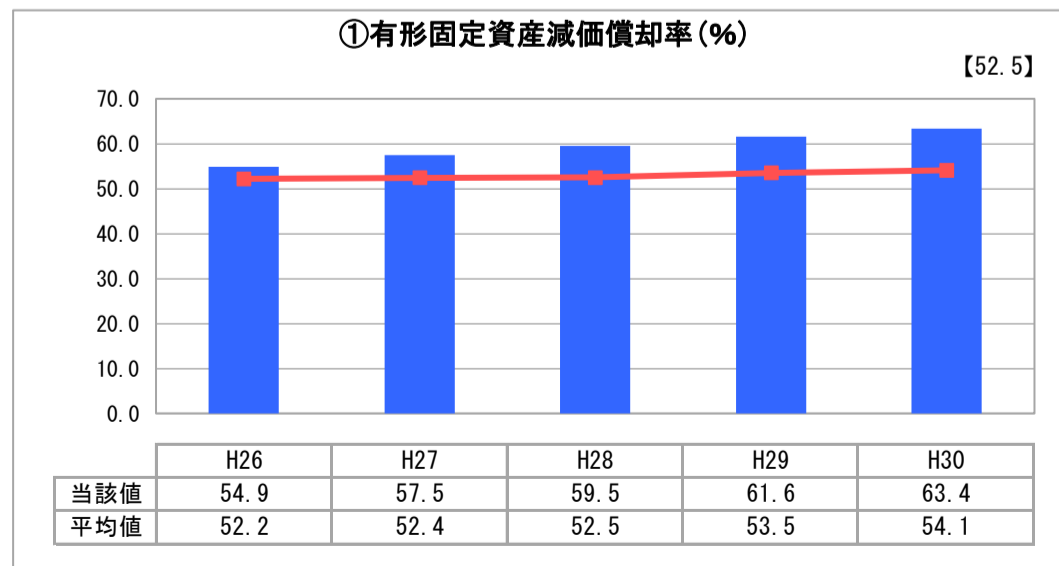
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
80	41	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	121
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
54	32	86

グラフ凡例		
■	当該病院値（当該値）	
—	類似病院平均値（平均値）	
【】	平成30年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

町立の病院として、一次・二次医療（急性期の一般患者（内科疾患）や在宅療養患者の受入、医療依存度の高い患者の在宅復帰支援、急性期病院からの受入）の提供、救急告示病院として24時間体制で可能な限り患者の受入を行ってきた。また、併設する老人保健施設や訪問看護ステーションとの連携を図り、切れ目のない支援を提供し、地域医療の中心的な役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成30年度は、収支状況を改善すべく、入院については高い病床稼働率の維持、外来については患者数の確保を目指し、それぞれ目標数値を立てて経営改善に取り組んだ。しかし、経常収支比率及び医業収支比率において、全国平均及び類似団体と比較して大きくマイナスとなった。要因としては、年度途中の医師の退職が挙げられる。特に整形外科医師の退職は入院患者の受け入れが不可能となり、病床稼働率の減少へと繋がって収益も減少した。同じく外来収益にも影響を及ぼしたため、非常勤医師で対応したが、診療日数が減ったため患者数も減少した。それに伴い入院と外来の収益はそれぞれ減少となり、多大な赤字を計上したこと、累積欠損金比率も膨らんだと考える。また、入院患者1人1日当たり収益は、未だ類似団体と比較しても低い状態が続いているが、外来患者1人1日当たり収益は長期投与などの影響もあり、高い数値を維持している。職員給与と費対医業収益比率については、医業収益の減少が影響し、65%と高い数値となっている。今後は制度改正などの影響も考えられるため、適正な人員配置をしながら給与費の抑制に努める。材料費対医業収益比率については、各部署の在庫管理や購入額の削減、長期投与の見直しに努めたが、こちらも収益の減少が影響したこともあり、類似団体と比較し依然高い数値となった。

2. 老朽化の状況について

昨年度同様有形固定資産減価償却率が全国平均及び類似団体と比べ高い状況が続いているが、財源確保が非常に厳しく、施設の大規模改修工事計画の策定や工事実施も着手出来ない現状である。その為、設備等の不具合が発生する頻度も多くなり、その都度修繕で対応しているのが現状である。今後も施設の老朽化が進行し、修繕箇所・修繕費の増加が見込まれる中、施設更新の財源確保が必要である。

また、器械設備減価償却率も高い状況が続く中、保守点検計画を策定し医療機器の安全使用に努めているが、耐用年数を超過してもなお使用している機器も数多く存在する。今後も医療安全の観点からも緊急性・必要性の高い医療機器については更新が必要のため、計画的な予算措置が必要となる。

全体総括

30年度の決算においては、経費の削減等により費用は全体的に減少したものの、収益も大きく減少した。町の財政非常事態宣言で注目を浴びる中で、病院事業において中期経営計画に基づき、これまで以上に経営の健全化と町民の信頼回復に全力で取り組んでいかなければならない。医師確保や患者数の確保、職員の意識改革など課題は多くあるが、どれも迅速な対応と改善が求められる。また、前年度から課題としていた施設老朽化に伴う対策も、今の収益をもって計画的な大規模な改修や医療機器の更新は難しいため、当面の間は修繕で維持していく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。